

### 令和5年11月～令和6年2月 からだの中から“からだ”を守る

### ～脳・内科系がん～

健康・医療情報コーナーでは、健康に関する資料や闘病記、寄贈雑誌などを紹介しています。

日々の健康について考えるための参考としてお役立てください。



書名:『マンガでわかるリアル「脳卒中」』

取材・マンガ:上田 惣子 医療監修:高木 誠 出版社:主婦と生活社

出版年:2022.9 請求記号:493.7/ウ(2階)

日本人の死因第4位である脳卒中。どんな病気なのか、詳しく知っていますか？この本では、脳卒中に関する患者や家族の疑問に、Q&A方式で答えています。

書名:『復活への底力』

著者:出口 治明 出版社:講談社

出版年:2022.7 請求記号:916/デ(1階新書コーナー)



脳卒中発症から、1年3ヶ月で大学学長へと復帰した著者。右半身まひと失語症を抱えながらも、大学に復職したいという強い思いでリハビリに臨む姿からは、まさに人間の「底力」を感じます。



書名:『肺がん 最先端治療と再発・転移を防ぐ日常生活の工夫』

著者:坪井 正博 出版社:主婦の友社

出版年:2020.5 請求記号 493.3/ツ(2階)

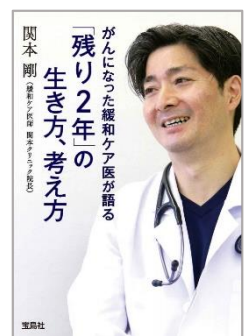
「肺がん」は、がん細胞の形、できた場所、病気の進行具合、治療に対する反応が一人一人違う病気とされています。どんな病気なのか、どんな治療法があるのか等正しい情報を知り、「がん」への理解を深めていきましょう。

書名:『がんになった緩和ケア医が語る「残り2年」の生き方、考え方』

著者:関本 剛 出版社:宝島社

出版年:2020.9 請求記号:916/セ(1階)

43歳でステージ4の肺がん、余命2年の診断を受けた著者。治療を受けながら、医師としての仕事を続けます。「医師」と「患者」両方の立場を経験した著者の、がん治療に対する葛藤や苦悩が書かれています。



# 医療情報+α

## 「認知症」に関すること

書名:『認知症の人の心がわかる本 介護とケアに役立つ実例集』

監修:杉山 孝博 編集:主婦の友社 出版社:主婦の友社

出版年:2020.10 請求記号 493.7/二(2階)



認知症介護で最も悩まされるのが問題行動だと言われています。どうしてそのような行動をとるのか？問題行動の背景をわかりやすくまとめ、様々な具体例とともに、適切な対処法と介護のコツを紹介しています。認知症介護に悩む人に読んでほしい一冊です。

書名:『お父さんは認知症』

著者:田中 亜紀子 出版社:中央公論新社

出版年:2020.5 請求記号:916/夕(1階新書コーナー)



自由を謳歌してきた著者と認知症になった父との日々を綴ったエッセイ。父の巻き起こす様々なトラブルに振り回されながらも、奮闘する姿がコミカルに描かれています。少子高齢化が進む今、決して他人事ではありません。

## 寄贈雑誌

『膵臓がん』

発行:国立がん研究センターがん情報サービス

11月は膵臓がん啓発月間です。この冊子では、膵臓がんについて、その症状や検査方法、具体的な治療法がイラストを使って分かりやすく紹介されています。



健康・医療情報コーナー内の「がん情報コーナー」では、がんに関する各種冊子を配布しています。がんについて悩んだときは、ぜひご利用ください。

図書館が、特定の治療法をおすすめすることはありません。  
また、治療法や治療方針など医療上のアドバイスはいたしません。  
ご自身の症状などは、医師に相談することをおすすめします。



宮崎市立図書館 0985-52-7100